

# 鴨居中だより

横須賀市立鴨居中学校校長 山田伊久男

保護者の方と一緒に読みましょう

平成30年（2018年）11月2日 NO. 7

あれほど暑かったのがうそのように、日に日に秋が深まっています。最近のニュースでは、紅葉から初雪まで見られ、日本の四季のすばらしさを実感しています。早いもので今年も残り2ヶ月。学校でも生徒の様子から時の流れを実感しています。

## 鴨中祭

鴨中祭では、「合唱発表」と「日常の文化活動の展示発表」を行いました。そして、この時期を「学校へ行こう週間」にして、地域の方にも、見ていただいています。

展示発表では、授業で取り組んだ作品と、科学部、家政部、美術部の日ごろの活動の様子分かる作品を掲示しました。ひとつひとつの作品は個性を主張しているかのようで、とても興味深かったです。また、「こういう授業は、生徒たちが興味を持って取り組むだろうな」と感じたものもありました。

一方、クラスとしての合唱は2週間集中的に取り組んで発表したのですが、レベルが高くて驚かされました。学級での練習から入退場や鑑賞態度も含め、非常によく取り組めていて、立派だったと思います。これは、卒業生も含め、他学年との交流を通して、上級生が「あこがれの存在」になっているからでしょう。「あんなふうにかっこよく歌いたい、美しく響かせたい」というような気持ちです。もちろん、体育祭で成功した体験もこの合唱の取り組みにつながっているでしょう。最優秀賞を取ったあるクラスの担任は「合唱だからといって団結しようとかそういうことはありませんでした。体育祭でひとりひとりが本気で取り組んで成功したことで、生徒たちは毎日の生活で自然と団結するようになりました。私はそれを見守っていただけです。」と語っていました。また、両小学校の先生方が丁寧な合唱指導をしてくださっていて、生徒たちが歌うことが好きになるように、そして美しく発声するように育てられていることも感じました。合唱発表はこの2週間だけの成果ではなく、いろいろな人との関わりの中で、時間をかけてたどり着いたものなのでしょう。

生徒会のボディパーカッションの取り組みも良かったと思います。事務局の進行からは、よく準備した様子が伝わってきました。何より楽しい雰囲気が満ちあふれ、賞を超えた一体感が学校全体に生まれていました。同様に、吹奏楽部の演奏をかけ声や振り付けなどで自然に楽しむ姿が、微笑ましく感じられました。

最後に生徒会長の栗田さんが、現事務局員の任期がそろそろ終わることを話しました。3年生は引退です。充実感や達成感と同時に一抹の寂しさも伝わってきました。素晴らしいリーダーシップで全校を引っ張ってきてくれた彼らに、私は本当に感謝しています。ありがとうございました。



## 駅伝競走大会

昨年と違い、好天に恵まれた市内駅伝競走大会。7月の選手選考会から走り続けてきた選手たちは、自分の力を精一杯発揮しようと力走していました。実際には選手として走れなかったけれども、チームのために、選手のために、ここまで協力して支えてきたチームメイトもいました。彼らや陸上競技部員、一般の生徒たちが、沿道で声援を送って励ましていた姿も印象的でした。結果は男子11位、女子18位。男女ともチームで掲げた目標にはわずかに届きませんでした。このチームで頑張れて良かったという声が多くの子供たちから聞こえて、うれしく思います。



本校では選手発表の会を儀式的に丁寧に行っています。ユニフォームを監督から手渡されると、いろいろな思いがこみ上げてきます。その会で流れた激励DVDの言葉は「覚悟・限界・挑戦」でした。去年素晴らしい成績を上げたチームは、当時の3年生だけで構成されていました。身近なあこがれでありながら、越えられない大きな壁のような存在。今年のチームは実績や自信がない中で、互いに励まし合って、苦悩や葛藤を乗り越えて成長してきました。そういう選手たちを誇らしく思います。「大きな舞台の自分の目標に向けて、勇気を持って、走って走って走ってきた」そういう経験は、人生の中できっと大きな力となっていくことでしょう。そして、来年もまた、先輩たちの背中にあこがれて、多くの方が選手選考会に集まってくることを期待しています。



## 地域防災訓練

連合町内会による鴨居連町合同防災訓練が、11月24日（土）の午前中に行われます。今までと違って、みなさんの住んでいる町内会ごとに、鴨居中体育館、旧上の台中体育館、鴨居小体育館、小原台小体育館に集まって、災害時に避難所を開設するイメージで訓練を行うそうです。今年は、



日本各地で大きな災害がありました。現在も避難所暮らしをしている方もいます。私たちもいつどうなるか分かりません。中学校も協力体制として、午前中は基本的に部活動なしにしました。本校の教育目標は「自立・共生・貢献」です。地域と共生、地域に貢献できるいい機会です。お子さんが参加できるよう、ご家庭でもご協力をお願いします。

## 読書週間・読書の習慣

今年の読書週間は10月27日～11月9日です。「〇〇の秋」に「読書」と入れる人はどれくらいいるでしょう。本校は残念ながら、本に親しむ習慣を持っている生徒が少ないようです。ただ、生徒に読書のすばらしさを伝えて奨励するのならば、私たち大人も本に親しむべきですね。本が身近にあって、本のことを家族で話題にするような雰囲気があるといいですね。ちなみに、私が今読んでいるのはAI（人工知能）に関する本と、少年サッカーの指導者が書いた本です。（両方読みかけなんです）

たまには、スマホを置いて本を読んでみませんか。

